

凄慘たる 暗黒の製鐵所

金權の劫火を消れた溶鑛爐は依然として死滅した残骸の如くに屹立して居る

大岡山製鐵所に於て起つた暗黒の事件は、世界を驚かした。入館製鐵所はあらゆる苦肉策を弄して職工の運動を抑へた。死滅した残骸の如くに屹立して居る。職工の運動を抑へた。死滅した残骸の如くに屹立して居る。

不安の氣

は全工場内に溢つて消滅したる五箇の溶鑛爐の中第一、第二、第三の溶鑛爐は依然として死滅した残骸の如くに屹立せられて居る。第四、第五の兩溶鑛爐と中央行鑛部の動力機所の三ヶ所は官憲の努力と俾り復舊したる若干の職工に依つて漸く再燃せしめ、製鐵所の電氣機を動かした。

應急修繕

を施して五午後十一時頃から通するに至り、右兩溶鑛爐とコークス工場に於て電力に依つて手廻りして恢復し、管内鐵道機關車は漸く二の運動を開始するに至りたるも、所内各工場の大部分は依然として鬼氣迫る暗黒界である。

鬼氣迫る

暗黒界である。製鐵所は五日前八時から入所した職工五千人中倉庫警備、警備等の責任者一千名を發した。外四千名は作業機關恢復せざる。

拓引者

四十名に達す。後始仙は、四十名に達し、その出願を地方裁判所より檢査して、同月五日午後六時、大岡山製鐵所を襲つた。一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百。

總動員

總動員を行つた。全縣長以下四十二名、門司警察部長以下十三名、若松警察部長以下二十一名、同水戸署二十八名、折尾署二十二名、門司水上署十八名、警備所四十七名、久留米署三十名、岡崎署四十八名、八幡署九十七名、合計三百七十八名を出發せしめ、小倉警察部長中山大尉以下全員の態勢を受けて自ら指揮官となり六日正午に發進したる淺原會長、木村等々の幹部二十餘名の外更に四名を檢束して職工の指揮を執ると共に、市内の要所々々を襲撃し、労友會本部を包圍的に攻撃し、職工の運動を抑へた。

反感を

挑発する延き抽。劣る行動を企てしつゝあるが、幹部を失ひたる労友會員は別項の如く一先づ出動するととなつたとす。官憲の苛酷なる干渉を憤る。官憲の苛酷なる干渉を憤る。官憲の苛酷なる干渉を憤る。

交替時間

から一先づ。一先づ出動するととなつたとす。官憲の苛酷なる干渉を憤る。官憲の苛酷なる干渉を憤る。官憲の苛酷なる干渉を憤る。

全縣下の警官

總動員

官憲却て職員の大ならしむ。其後の職工の結束を強固にして容易に屈從する職工を見せざる。其後の職工の結束を強固にして容易に屈從する職工を見せざる。其後の職工の結束を強固にして容易に屈從する職工を見せざる。

名

値上を要求

値上を要求